

令和4年度 理科 中学入試問題について

【出題方針】

昨年度から理科の配点や時間に変更され、理科と社会を合わせて60分、100点（理科は50点分）となっています。出題の形式や傾向は、例年通り変わりません。理科四分野（生物・化学・物理・地学）からバランスよく、小学校で習う範囲内で出題します。知識量といった「暗記力」だけを問うのではなく、読解力や計算力などの「考える力」を問う問題です。

【問題構成とアドバイス】

1 小問集合

生物、化学、物理、地学、時事問題から各2題（計10題）を出題します。

2 生物分野

「動物」「植物」「生態系」から出題します。「動物」からは、発生、消化と吸収、呼吸を。「植物」からは、発芽、光合成、呼吸を。「生態系」からは、動植物のつながり（食物連鎖など）を出題します。

3 化学分野

身の回りのもの（固体・液体・気体）の性質と変化から出題します。行った実験に対して、どのような結果が得られるか（作図やグラフなど）。また、行った実験の結果から、どのような法則が見られるか考察する力を求めています。

4 物理分野

「力」「電気」「光と音の性質と法則」から出題します。「物にかかる力」からは、てこ、ふりこ、浮力を。「電気」からは、電流回路、電流により生じる熱を。「光と音」からは、光の明るさや進み方、音の伝わり方を出題します。

5 地学分野

「大地」「気象」「宇宙」から出題します。「大地」からは、大地の変化と地層を。「気象」からは、日本の天気と気象を。「宇宙」からは、地球に身近な天体（太陽・月・星座）を出題します。

【解答上の注意】

四分野とも、問題文をしっかりと読み内容を理解すれば、解答できる問題になっています。時間配分を考慮しながら、じっくり読み込んでください。